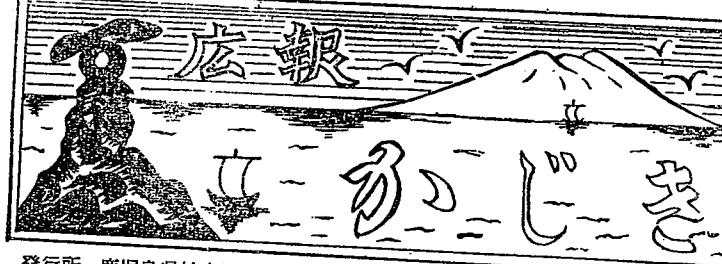


人口の動き		
-35年(11月1日現在)-		
④ 世帯数	4,890戸	
⑤ 人口	20,000人	
男	9,534人	
女	10,466人	
⑥ 10月中の出生 死亡		
区分	出生	死亡
男	8	3
女	16	5
計	24	8

辺川方面への国鉄バスの乗り入れについては、地元民からねて強い要望があり、では先づ道路整備を先決問題として、本年初より自衛隊にて白坂道路を改良し、一段階として沿道の改良を失事業をもつて完了した。その上で門司自動車事務所を通じて、中央に折衝中であつたが、町長が11月上京し中國鉄本社で理事会が開かれ、1、2問題があつたが漸く決定を見た。実施は今少し時日を要するであろうがとに角全国で数線だけとりあげた中にはいって事は、よろこびにたえない。



発行所 鹿児島県姶良郡加治木町役場 (二戸一枚配付)
発行人 曽木隆輝 編集人 中元邦夫 印刷所 吉屋印刷所

るため納税組合の育成指導は、特に力を入れて来た。ありますが、これは自主的見地からしても又納税組合の立場からみても大變必要な事であります。納税は定期限までに自主的に納めることが立前です、然し乍ら現実の問題として心に思ひらもいろいろな事情のため、その気持が薄れついに納められず督促料延滞など余計な金を納めなくてならない結果となつてしまふのでわないでしようか。これをなくすためには是非と組合という強い組織の力が必要であります。

町を豊かにするため ぜひ納税組合を

で、未結成の部落は是非共
目につけつて戴くようお願
いいたします。

今後、国、県等におきま
ても臨戸徵収は廢止する方
向へとおもふるが、この問題
は、未結成の部落は是非共
目につけつて戴くようお願
いいたします。

16

松城校建築工事 順調にすすむ

納 税 成 績 表		(35.11.30 截)		
税 目	調 定 額 ①	収 入 濟 額 ②	収 入 未 濟 額 ① - ②	収 入 率 (%)
町民税	(9,433,100) 12,791,740	8,673,576円	8,118,164円	(96.67)
固定資産税	(17,876,980) 23,311,280	15,448,627	7,862,653	(86.66)
軽自動車税	396,190	356,420	39,770	90.0
電気ガス税	2,145,214	2,145,214	0	100.0
たばこ消費税	2,986,670	2,986,670	0	100.0
木材引取税	29,000	13,600	15,400	46.9
犬 税	105,200	87,200	18,000	(84.29)
都市計画税	(1,278,200) (1,701,370)	1,079,773	621,597	63.5
小 計	(34,250,374)	30,791,080	12,675,584	(89.9) 70.8
滞納繰越分	9,303,742	2,207,027	7,096,715	23.7
合 計	(43,554,116) 52,770,406	32,998,107	19,772,299	(75.8) 62.5

- 只今町民は町内で買物をしましようの運動を展開いたしております
- 町内で買物されますとそれだけ町が豊かになつてきます。

まちのさかえは町内での買物から

たとえば煙草の如きは町内の年間売り上げの100分の11が煙草消費税(本年度收入予算449万6千円)として町財政に還つてくることになります。その他の品物もまた町民税その他の還つくることになります。

- 商店はまたこれに応じて品質の厳選・価格の低廉・正札の励行を実施してだれでも買い易い・サービス本位の店として皆様に満足していただけようにいたします。

主唱 加治木町 加治木町公民館 加治木商工会

先に町長は上京の際協和醸造会社を訪ね自酒と合併し更大く発足されることになつた事につきお祝を述べるに、町に対しても何かと協力願いたい旨懇請したが、同社では港湾施設も強化中の事故一般財政に対し「百円」の寄附の話がまとまつた。町としては同社の厚意に深く感謝の意を表している。十二月二日同社長加藤井三郎氏は町役場を訪問先般の答礼を兼ねて、今後加治木工場は十分検討して、更に強化の方策をたてた

い、からいもも今の二倍位は将来買入れたい旨付け加え、この際であるから町内各方面から十分協力して貰いたい。それによつて同社としては同工場の空地を更に有効に利用することも十分考慮する所存であるとの意思を表明された

太鼓おどり上京

越で九州物産が行なわれそアトラクショニに各県の郷土能が出された鹿児島県代として加治木反士の太鼓おり一行18名が、加した。連日回乃至3回出

国民健康保険事業を開始する方針で自下手続中である。

役場に国民健康保険課
設置の準備中

11月8日から13日まで東京三越で九州物産展が行なわれそのアトラクションに各県の郷土芸能が出されたが鹿児島県代表として加治木町反士の太鼓おどり一行18名が参加した。連日1回乃至3回出演し各方面から非常な好評をうけた。8日は日本テレビに出演特に13日は靖国神社にも奉納し、午後は在京加治木出身者の大会も外苑で行なわれこれに出演した園田静夫さんを会長とする在京加治木出身者も非常によろこびであった一行は14日には小田原内閣審議室事務官(駅前小田原先生次男)のあつせんで皇居辯観音まで許され忙しい中にも意義ある旅行をすることが出来た

知つておきたいことの

イ 免除認定は被保険者個人又はその属する世帯の実情に即して半額とか又は同一世帯中数人の被保険者がいてそのすべての者については保険料納付が困難であるときは一部のものについて免除することを積極的に行なうこととする。
ロ 免除認定は他の公租公課の負担を考慮して行なう。う。
特に国民健康保険税（料）とともに国民年金の保険料も納付しなければならない世帯については前者の納付を優先させ、国民年金の保険料を納付する余裕がない場合にはこれを免除することとする。

